

## 西垣誠先生 定年退職記念事業 趣意書

拝啓 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、西垣誠先生におかれましては、平成二十七年三月三十一日をもちまして、定めにより、岡山大学を定年退職されることになりました。

先生は、昭和四十七年に神戸大学工学部土木工学科を卒業され、昭和四十九年に神戸大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻を修了、昭和五十二年に京都大学大学院工学研究科博士課程を単位取得されました。同年の昭和五十二年四月に工学部土木工学科助手として岡山大学に着任され、昭和五十五年京都大学で工学博士を取得された後、岡山大学講師および助教を経て、岡山大学環境理工学部発足の平成六年十月に教授に昇任され、今日に至っております。今日までの三十八年間、高い見識と圧倒的な行動力をもって教育・研究に取り組み、多くの優れた人材を育成されるとともに、学会・協会および産業界の発展に努められました。

大学においては言語教育センター副センター長、環境理工学部副学部長を務められ、工学部および環境理工学部、環境学研究科、環境生命科学学研究科のみならず岡山大学の発展に多大な貢献をされました。

先生のご研究分野は地盤工学の研究であり、特に地下水環境に関する工学的な諸問題の解決に取り組みられてこられました。中でも、飽和・不飽和浸透流を統一的に扱える解析手法の実用普及に尽力されるところにも、解析に必要となる地盤物性を室内土質試験及び原位置地盤調査により評価する方法を確立されました。また、地下水流動に加え、地下水中の物質輸送問題を解析できる手法を明示されました。これらの一連の解析コードは無償公開されたこともあり、実務で広く使われるようになり、この分野の発展の礎を築かれました。これらの研究において、土木学会論文賞をはじめ、土質工学会奨励賞、地下水学会奨励賞、ダム工学会論文賞、電力土木技術協会高橋賞などの各学協会賞を受賞されました。

先生は、国内外で広く研究活動を行われ、国内では土木学会理事、日本地下水学会会長、地盤工学会副会長を歴任されました。また、各学会において種々の研究委員会の委員長を務められておられます。国外では、昭和五十五年イスラエル政府客員研究員としてテクニオン工科大学に在籍されたご経験から国際交流に貢献され、地盤工学会ATC8国内委員会委員長、地下水学会国際委員会委員長等を歴任され、平成十五年には地盤環境における地下水問題に関する国際シンポジウムを大会副委員長として運営に多大な貢献をされました。

先生は、社会活動も積極的に行われ、各機関の地下水対策検討委員会委員長や各種の専門委員を数多く務められました。

このたびの先生の定年退職を機に、先生にご厚誼、ご指導いただいた皆様幅広く呼びかけ、これまでのご功績を讃えるとともに感謝の意を表したく、「西垣誠先生 定年退職記念事業」を計画いたしました。つきましては、何卒この趣旨にご賛同賜り、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

敬具

平成二十六年十二月吉日

西垣誠先生 定年退職記念事業 実行委員会

(委員名簿は別紙に記載)

西垣誠先生 定年退職記念事業 実行委員会 代表

河崎 浩  
西山 哲  
河田 孝志  
河村 志朗  
高坂 信章  
川崎 元  
福谷 幸三  
進士 喜英  
土屋 善浩  
白石 知成  
瀬尾 昭治  
長谷川 琢磨  
小松 満  
松尾 雄一郎  
太田 拓郎